

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導室面積は充分にあるが、密にならないよう空きスペースを工夫したり、天気の良い日は外で遊べる活動を取り入れたりしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			加配をして規定以上の配置数にしています。子どもによっては、マンツーマン対応をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内は車椅子での移動ができるバリアフリーであると共に、多目的トイレや廊下に手すりを設置しています。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月の職員会と週1回の支援会議等において、確認と業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査などにて保護者などの意向の把握と業務改善を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者に会報と共に配布し、ホームページや公の掲示場にも掲示しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者外部評価は行なっていませんが、独自で苦情解決第三者委員会を実施しており、意見等を受け業務改善を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			専門機関から講師を招き、職員研修を行っています。また、外部で行われている研修に積極的に参加しています。職員のみでの研究会も行っています。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回以上のアセスメントやモニタリングなどで保護者のニーズを把握したうえで、子どもの課題について支援会議等で検討し、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			「冰山モデル」や「三つの窓」などのアセスメントツールを使用して、子どもの行動の原因分析を事例検討会等で、確認している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで作成し、支援会議で検討・確認をしています。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や週や月ごとの取り組みを計画し、子ども（個々）の発達・興味関心に応じた取り組みを行なっています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その日に利用する子どもの課題や時間に応じて職員の配置を多くしたり、個々の課題に応じた支援ができるようにしています。長期休み等は施設外の活動も取り入れています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの発達や課題に応じて、個別での活動と集団での活動を組み合わせて計画しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の朝礼等で確認をし、ボードで内容や担当など見える化しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後に限らず職員同士で必ず打ち合わせをして気づいた点を共有しています。掲示板などを利用して情報を共有するよう努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日担当した職員が記録し、子どもの様子や課題等を共通理解した上で、支援の検証・改善につなげています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、支援会議にて計画の見直しの必要性の判断に努めています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの総則にある、自立支援と日常生活の充実・創作活動・地域交流等の基本活動を組み合わせた支援を行なっています。
関係機関 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者と共に、必要に応じてその子どもの状況を知る者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の下校時間や行事予定の把握に努め、情報共有しています。トラブル発生時には迅速に学校や家庭との連携に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			少数ながらできる範囲で受け入れを行っています。必要に応じて、主治医や学校などとも連携しながら行います。

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者の同意を得たうえで、必要に応じて発達支援センターや保育園等と連携して情報を共有しています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者の同意を得て、移行先へこれまでの支援内容や留意事項等の情報を提供しています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて連携し、助言や研修を受けています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園や児童館、市の公共施設等に出かけ、地域の子どもたちとふれあう機会を設けています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加しています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			アセスメントやモニタリング時以外でも、連絡帳等で状況を伝え合ったり、送迎の際に口頭で伝え合ったりするなど、常に共通理解できるよう努めています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		具体的なペアレントトレーニングは実施できていませんが、信頼関係を作りながら一緒に子どもの課題を探り、支援を行っています。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしています。変更などがあった時は、その都度説明をしています。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談はいつでも対応できるようにし、必要に応じて専門機関と連携しています。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度はコロナ禍によりできませんでしたが、保護者が集う茶話会は再開しています。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決第三者委員を設けて契約時に説明をし、保護者の目に留まるところに連絡先を掲示し、ご意見箱を設置しています。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			お便りを毎月配布し、活動内容や行事予定などをお知らせしています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の管理を徹底し、職員の守秘義務を徹底しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもに関しては絵カード等で視覚支援等をして意思疎通を行っています。配慮が必要な保護者の方に関しては状況や状態に応じて口頭・筆記・電話（ビデオ通話）・電子メール・手話通訳などで対応できるよう配慮しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ前は、老人会を招いて催し物をしていました。ボランティアさんに定期的に来ていただいています。また、実習生の受け入れをしています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定し、職員会等で資料を配布したり、館内に掲示し周知しています。保護者には、資料を配布しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練を定期的実施しています。長期休暇中に子どもと職員の合同訓練をしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員研修会で講師を招くなどして深めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		拘束が必要な場合は放課後等デイサービス計画に必ず記載し、保護者にも十分に説明したうえで承諾を得ます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からアセスメントをして、その子に応じて対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット（掲示板で都度報告）事例を記録し、職員会義等でもその都度共有して対応策を検討しています。